

2 - 6 - 8 市指定史跡 戌山城址 指定昭和 35 年 5 月 11 日

戌山城は、室町時代に幕府の重臣（管領）斯波^{しば}氏の一族によって築かれ、織田信長の部将金森長近が亀山山頂に大野城を築くまで、越前美濃国境間の要として重視されていた。

途中、斯波氏の内紛を機に朝倉氏の居城となったが、それは、三代目城主持種の子である斯波義敏との家督争いが発端となり、応仁の乱の一因になったともいわれる。

主郭のある山頂からは大野盆地が一望に見渡せ、郭群・堀切・堅堀などの遺構も確認できる。

登山口横にある「みくら清水」は、山頂の兵が日に 3 度飲料水を汲みに来た、という言い伝えでこの名がついている。

平成 12 年 3 月

大野市教育委員会

説明板より